

アネスト岩田株式会社 2026年3月期1Q 決算補足説明資料

2025年8月8日

東証プライム市場 機械

証券コード6381

2026年3月期1Qの実績

- 売上高は、12,088百万円(前年同期比－3.2%)
 - －エアエナジー事業は、減収減益。中国の圧縮機販売については、中国国内及び中国からの輸出が低迷
 - －コーティング事業は、減収増益。塗装機器は、中国の営業力強化により売上回復も、欧州では一服感。日本の塗装設備の売上減少が全体を下押し
 - －その他事業は、増収赤字。新規事業の先行投資により赤字
- 営業利益は、929百万円(前年同期比－8.7%)
 - －売上原価率は改善も、販売管理費率が上昇
- 経常利益は、1,315百万円(前年同期比－22.8%)
 - －為替差益が大幅に減少
- 当期純利益は、895百万円(前年同期比－14.9%)

2026年3月期 通期業績見通し

- 前回見通し(2025年5月9日発表)を据え置き

減収減益。売上原価率改善により売上総利益は増加も、販管費の増加や為替差益の減少により減益

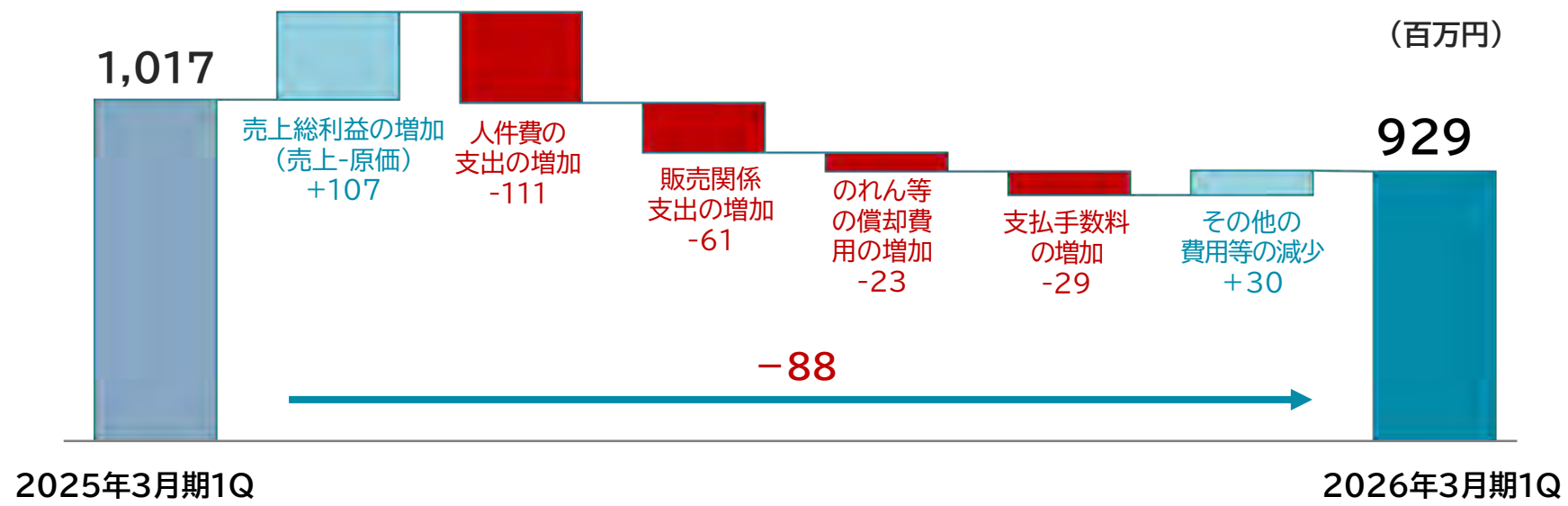
- 売上高における為替の影響は－60百万円
- 為替差益は6百万円(前年同期比－338百万円)

		2025年3月期1Q		2026年3月期1Q		前年同期比			2026年3月期 業績予想	
		実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化(pt)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高		12,484	—	12,088	—	-395	-3.2	—	58,000	20.8
営業利益		1,017	8.2	929	7.7	-88	-8.7	-0.5	5,550	16.7
経常利益		1,704	13.7	1,315	10.9	-389	-22.8	-2.8	6,710	19.6
親会社株主 帰属純利益		1,052	8.4	895	7.4	-156	-14.9	-1.0	4,150	21.6
平均 為替 レート	円／ 米ドル	148.61 円		152.60 円		3.99 円 円安			151.50 円	
	円／ ユーロ	161.31 円		160.50 円		0.81 円 円高			164.00 円	
	円／ 人民元	20.63 円		20.95 円		0.32 円 円安			21.00 円	

【為替の感応度について】売上高、営業利益ベースによる傾向値(下記にて通貨割合は反映されておられません)

- ・売上高：1円の円安にて、米ドル50百万円/年、ユーロ50百万円/年、人民元600百万円/年、それぞれ増加
- ・営業利益：1円の円安にて、米ドル10百万円/年、ユーロ10百万円/年、人民元30百万円/年、それぞれ増加

売上原価率は為替の影響もあり低下した一方、販売管理費率は人件費の増加が継続したことにより上昇



売上原価率
の改善

- 2026年3月期1Q:51.9% (前年同期比-2.4pt)
- 売上原価(6,275百万円: 同 -503百万円)における為替の影響は、-201百万円
- ✓ 日本では、為替影響を含む調達コストや労務費が増加
- ✓ 製品ミックスの変化や期末レートの円高進行に伴う在庫評価額の圧縮により売上原価率が低下

販売管理費率
の上昇

- 2026年3月期1Q:40.4% (前年同期比+2.8pt)
- 販売管理費(4,884百万円: 同 +195百万円)における為替の影響は、-8百万円
- ✓ 主に日本における人件費が増加
- ✓ 本社事務棟の大規模修繕工事を実施により修繕費が増加

米州・中国での減収が全体売上高を押し下げ、海外売上比率は69.1%から67.3%に低下

- 日 本:2024年10月に実施した価格改定の効果などにより増収
- 米 州:通商政策の影響により、アメリカの持分法適用会社における汎用市場・車両搭載市場向けオイルフリー圧縮機の売上が減少
- 中 国:中国国内需要の停滞が売上を下押し
- その他:過年度から実施の営業体制の強化策などにより、東南アジアは回復基調に転換

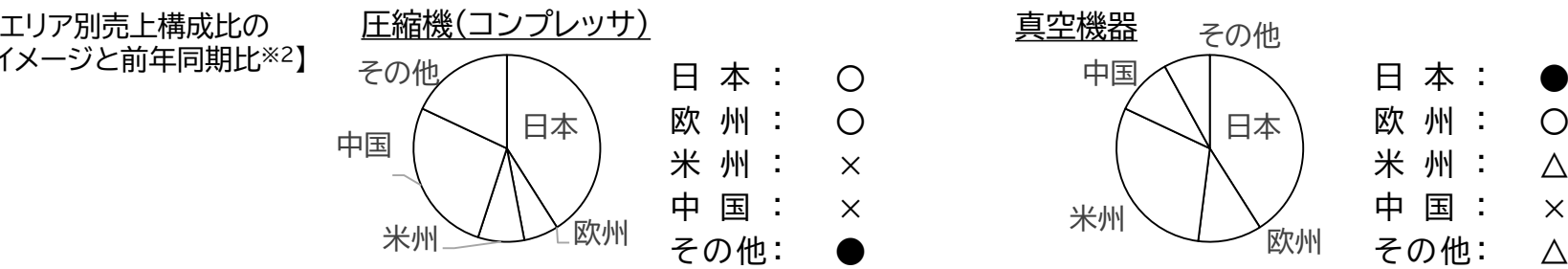
	2025年3月期1Q		2026年3月期1Q		前年同期比	
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
日本	3,858	30.9%	3,953	32.7%	+95	+2.5
欧州	2,365	18.9%	2,392	19.8%	+26	+1.1
米州	1,802	14.4%	1,616	13.4%	-186	-10.3
中国	2,652	21.2%	2,313	19.1%	-339	-12.8
その他	1,805	14.5%	1,813	15.0%	+8	+0.4
合計	12,484	100.0%	12,088	100.0%	-396	-3.2

(注)1. 日本とインドの期末は3月、他地域は12月であり、他地域の連結決算は3か月の期ズレが発生
2. セグメント区分:その他=中国を除くアジア、オーストラリア、南アフリカ

日本は堅調に推移も、中国の低迷をカバーできず減収。インドの新工場稼働準備に伴い関連コストが増加

	区分	2025年 3月期1Q	2026年 3月期1Q	前年同期比		概況(矢印は前年同期比)
				増減額	増減率 (%)	
売上高	圧縮機	6,834	6,618	-216	-3.2	(日 本) ↑ 昨年10月の価格改定効果により、特に小形圧縮機の売上増加 (欧 州) ↑ OEM需要の回復により、オイルフリー圧縮機の売上増加 (米 州) ↓ 汎用市場・車両搭載市場向けオイルフリー圧縮機の売上減少 (中 国) ↓ 国内販売の低迷継続に加え、需要先市況の停滞により輸出販売が減少 (その他) ↓ インドにおいて、主に汎用市場向け小形圧縮機の売上が減少 ↑ 営業体制の強化により、東南アジアの売上が回復傾向
	真空機器	748	597	-151	-20.2	(中 国) ↓ 前年同期に見られたリチウムイオン電池製造関連装置向け真空ポンプの売上が減少
	合計	7,583	7,215	-367	-4.9	
営業利益	エアエナジー	565	478	-87	-15.4	営業利益率: 6.6% (前年同期比 - 0.9pt) ※1 ↓ インドの圧縮機組立工場新設に伴う費用が増加 ↑ 真空ポンプの原価率が低下

(注) 前期4Qより、ECサイト販売をはじめとするコンシューマービジネスの収益は、「その他」に区分変更いたしました。前期については、区分変更を反映した遡及処理後の数値を掲載しています



※1 (製品別利益率のイメージ)
真空機器 > 塗装機器 > 圧縮機 > 塗装設備

※2 (前年同期比)
◎: 10% ~ ○: 3% ~ 10% △: 0% ~ 3% ▽: 0% ~ -3%
●: -3% ~ -10% ×: -10% ~

営業活動の強化により、中国及び東南アジアにおける塗装機器の売上が回復基調に転換

	区分	2025年 3月期1Q	2026年 3月期1Q	前年同期比		概況(矢印は前年同期比)	(単位:百万円)
				増減額	増減率 (%)		
売上高	塗装機器	4,348	4,427	+79	+1.8	(日 本) ↓自動車補修市場向けスプレーガンは堅調も、一般塗装市場向けの売上が減少 (欧 州) ↓自動車補修市場向けスプレーガンの売上が減少 ↑エアーストリカの販売が拡大 (米 州) ↓自動車補修市場向けスプレーガン及びエアーストリカの売上が減少 (中 国) ↑営業活動の改善により、スプレーガンを中心とした売上が回復傾向 (その他) ↑東南アジアでのマーケティング活動強化などにより売上が増加	
	塗装設備	524	291	-233	-44.4	(日 本) ↓1Qの納入案件が少なく、売上が減少 (その他) ↑インドにおいて自動車部品向け塗装設備の受注件数が増加 (日本・中国・その他) ↑自動車製造に関連する案件の受注残高が前年同期比で増加	
	合計	4,872	4,719	-153	-3.2		
営業利益	コーティング	438	533	+94	+21.6	営業利益率:11.3%(前年同期比+2.3pt)※1 ↑利益率の高い塗装機器の売上割合の上昇	

(注)前期4Qより、ECサイト販売をはじめとするコンシューマービジネスの収益は、「その他」に区分変更いたしました。前期については、区分変更を反映した遡及処理後の数値を掲載しています

【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比※2】



※1(製品別利益率のイメージ)
真空機器 > 塗装機器 > 圧縮機 > 塗装設備

※2(前年同期比)
◎:10%~ ○:3%~10% △:0%~3% ▽:0%~-3%
●:-3%~-10% ×:-10%~

前年度末より「その他」区分を切り出し。売上の中心となる子会社(A.I.R.)※の事業活動は順調に推移

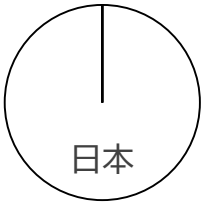
	2025年 3月期1Q	2026年 3月期1Q	前年同期比		概況(矢印は前年同期比)	(単位:百万円)
			増減額	増減率(%)		
売上高	27	153	+125	+451.0	(日 本) ↑ ECサイト運営及びDIY向け機器の販売をA.I.R.に移管 ↑ DIY向け機器の販路拡大やECサイトでの掲載商品拡充及び大手通販サイトとの連携強化により増収	
営業利益	13	-82	-96	—	営業利益率: -53.8%(前年同期比 —) ↓ 日本及びフィリピンにおける軽板金補修事業の新規展開に向けた準備費用が発生(詳細はP12)	

(注)1.前期4Qより、「エアエナジー事業」及び「コーティング事業」に含まれていたECサイト販売をはじめとするコンシューマービジネスの収益は、事業戦略上の重要性の観点から比較を容易にするため「その他」の区分を新設し、区分変更しました。前期については、区分変更を反映した遡及処理後の数値を掲載しています。

2.当1Qより、従来「エアエナジー事業」及び「コーティング事業」に区分していたDIY向け機器の収益については、製品の性質や販売体制等を総合的に勘案し、「その他」へ区分変更しました。

3.「その他」事業には、コンシューマー向け製品の販売やモビリティアフターサービス事業を展開する日本の連結子会社に関する収益などを含みます。

【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比※2】



日 本 : ◎
欧 州 : —
米 州 : —
中 国 : —
その他: —

※1 株式会社ANEST IWATA A.I.R. :2024年7月設立

※2 (前年同期比)
◎:10%~ ○:3%~10% △:0%~3%
▽:0%~-3% ●:-3%~-10% ×:-10%~

流動負債および純資産は為替変動の影響により減少。自己資本率は68.4%(前期末比+0.7pt)

		2025年3月期 通期期末	2026年3月期 1Q	対前期末差異		
		実績(百万円)	実績(百万円)	増減額(百万円)	増減率(%)	主な増減要因
資産	流動資産	45,229	43,053	-2,176	-4.8	・「現金及び預金」の減少 - 2,496百万円
	固定資産	23,973	24,082	+109	+0.5	・「投資有価証券」の増加 + 257百万円 ・「建設仮勘定」の減少 - 118百万円
	資産	69,202	67,135	-2,066	-3.0	
負債及び 資本	流動負債	12,161	11,753	-408	-3.4	・「支払手形及び買掛金」の減少 - 362百万円 ・「賞与引当金」の減少 - 463百万円
	固定負債	3,479	3,378	-100	-2.9	・「リース債務」の減少 - 62百万円
	負債	15,641	15,132	-509	-3.3	
	株主資本	41,435	41,421	-14	-0.0	
	その他の 包括利益累計額	5,417	4,532	-884	-16.3	・「為替換算調整勘定」の減少 - 923百万円
	非支配株主持分	6,707	6,049	-657	-9.8	
	純資産	53,561	52,003	-1,557	-2.9	
	負債・純資産	69,202	67,135	-2,066	-3.0	

事業戦略の中核を担うインドにおいて、中形圧縮機の組立工場は2025年冬頃より本格稼働開始予定

	2025年3月期	2026年3月期		
	1Q実績(百万円)	1Q実績(百万円)	通期計画(百万円)	進捗率(%)
設備投資	622	842	3,450	24.4
減価償却費	540	551	2,400	23.0
研究開発費※	399	390	2,000	19.5

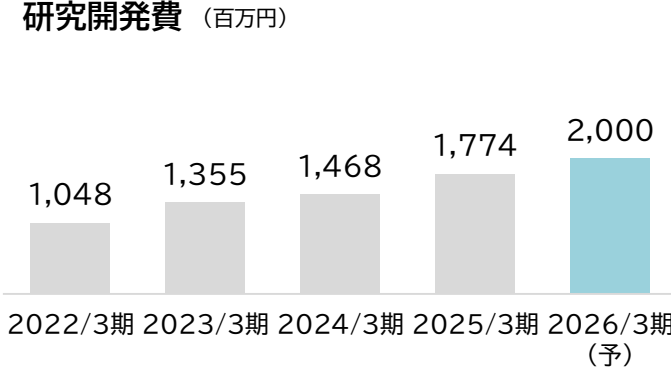
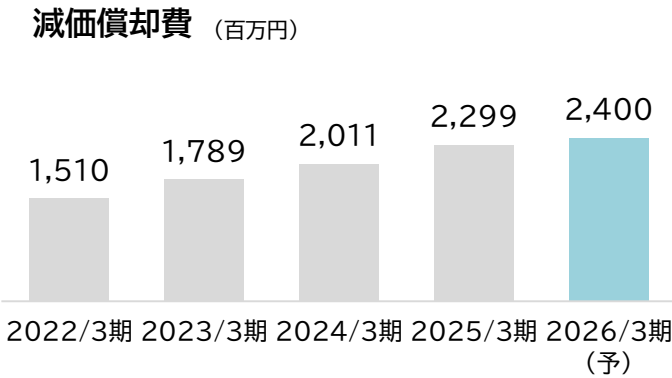
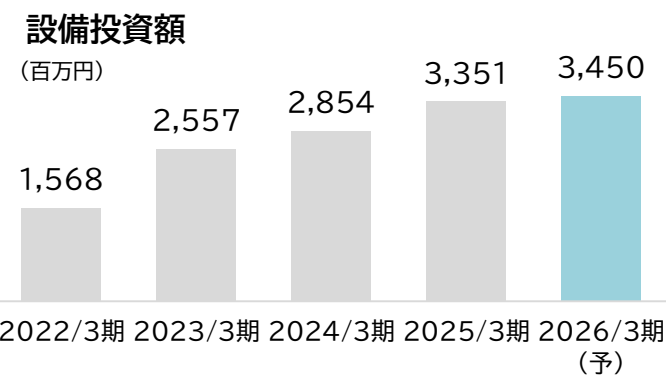
※研究開発費：研究開発に係る一般管理と製造経費の合計値

主な設備投資

実績

計画

- 日本：本社事務棟の大規模修繕工事を実施
- インド：中形圧縮機の新設となる組立工場が完成(詳細はP12)
- 日本：工場のDX化をはじめとするデジタル基盤の構築、本社試作棟の完成
- 各エリアにおける生産設備の増強



アメリカ通商政策の影響額については現在試算中。現時点では、通期業績見通しは据え置き

		2025年3月期		2026年3月期			
		実績(百万円)	構成比(%)	目標値(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
売上高		54,411	100.0	58,000	—	+3,588	+6.6
エアエナ ジー	圧縮機	30,787	56.6	—	—	—	—
	真空機器	2,822	5.2	—	—	—	—
	小計	33,609	61.8	35,800	61.7	+2,190	+6.5
コーティ ング	塗装機器	17,943	33.0	—	—	—	—
	塗装設備	2,736	5.0	—	—	—	—
	小計	20,679	38.0	22,100	38.1	+1,420	+6.9
その他	小計	123	0.0	100	0.2	-23	-18.8
営業利益		5,903	10.8	5,550	9.6	-353	-6.0
エア エナジー	営業利益	3,388	—	3,400	—	+11	+0.3
コーティング	営業利益	2,608	—	2,750	—	+141	+5.4
その他	営業利益	-94	—	-600	—	-505	—
経常利益		7,139	13.1	6,710	11.6	-429	-6.0
親会社帰属当期純利益		4,276	7.9	4,150	7.2	-126	-3.0
平均為替 レート	円／米ドル	151.58	—	151.50	—	-0.08	
	円／ユーロ	163.95	—	164.00	—	0.05	
	円／人民元	21.02	—	21.00	—	-0.02	

中・長期的な業績拡大に向けた投資の継続や外部環境が収益を下押しも、増収の見込み

前提条件

- 国内外の人件費や物流コストのほか、原材料及び部材の調達価格の上昇を見込む
- 対円為替レートは2025年3月期と同水準を想定も、不確実性が高いため、目標値に為替差損益は含めず
- アメリカ通商政策は、日本からの輸出(圧縮機・塗装機器)に影響の可能性あるも動向不透明により、目標値には含めず

2026年3月期の見通し

	予想(百万円)	前年同期比(%)
売上高	58,000	+6.6
営業利益	5,550	-6.0
経常利益	6,710	-6.0
当期純利益	4,150	-3.0

売上高

営業利益

経常利益
/ 当期純利益

- 日本及び海外の全エリアにおいて増収の見込み
 - ✓ 日本・インドにおける圧縮機、欧米における塗装機器の販売が拡大
 - ✓ 欧州の圧縮機については販売体制の再構築に着手も時間を要する
 - ✓ 中国内需は微増を見込む
- 日本・米州・中国を中心に人件費が増加
- 日本における営業コストの増加
- 開発投資の強化など、さらなる成長に向けた投資の継続
- 政策保有株式の縮減継続も、2025年3月期計上分の反動減があり売却益は減少
- 2025年3月期に計上した事業資産の評価損の解消

中形圧縮機の新設となる組立工場が完成（インド）

インド子会社※¹敷地内に中形圧縮機の組立工場が完成。2025年冬頃より本格稼働開始の見込み

インド
市場

- ・ 経済成長に伴い、さまざまなモノづくりが活発化
- ・ 同国内で新設される生産工場において、中形圧縮機のニーズが拡大



- 従来は、中国子会社から中形圧縮機を輸入し、インド国内で販売
- 新工場稼働後は、顧客ニーズに則した提案や短納期での商品提供が可能に



工場内部

※¹ ANEST IWATA MOTHERSON Private Ltd.

モビリティアフターサービス事業の新規展開（日本・その他＜フィリピン＞）

第三の事業確立を目的に設立した日本子会社※²において、既存事業と親和性の高いモビリティアフターサービス事業の新規展開を企画

事業
内容

塗装機器のトップメーカーとして培った塗装技術を活かした
車両整備や板金塗装、カーコーティングサービスを提供

目的

現場で得た知見を製品開発にフィードバックし、
よりニーズにマッチした製品づくりを実現

まずは日本及びフィリピンにて店舗開設予定

→日本:店舗及び人員の確保は完了しており、2025年秋頃の開業を予定

→フィリピン:市場の要求品質が日本に近く、需要はあるが対応できる店舗が少ないため販売拡大を見込む

※² 株式会社ANEST IWATA A.I.R. :2024年7月設立

- アメリカで圧縮機を販売する持分法適用会社の業績が堅調に推移したことにより、持分法投資利益は前年同期比22百万円増加。一方で、為替差益が338百万円減少したため、経常利益は減益

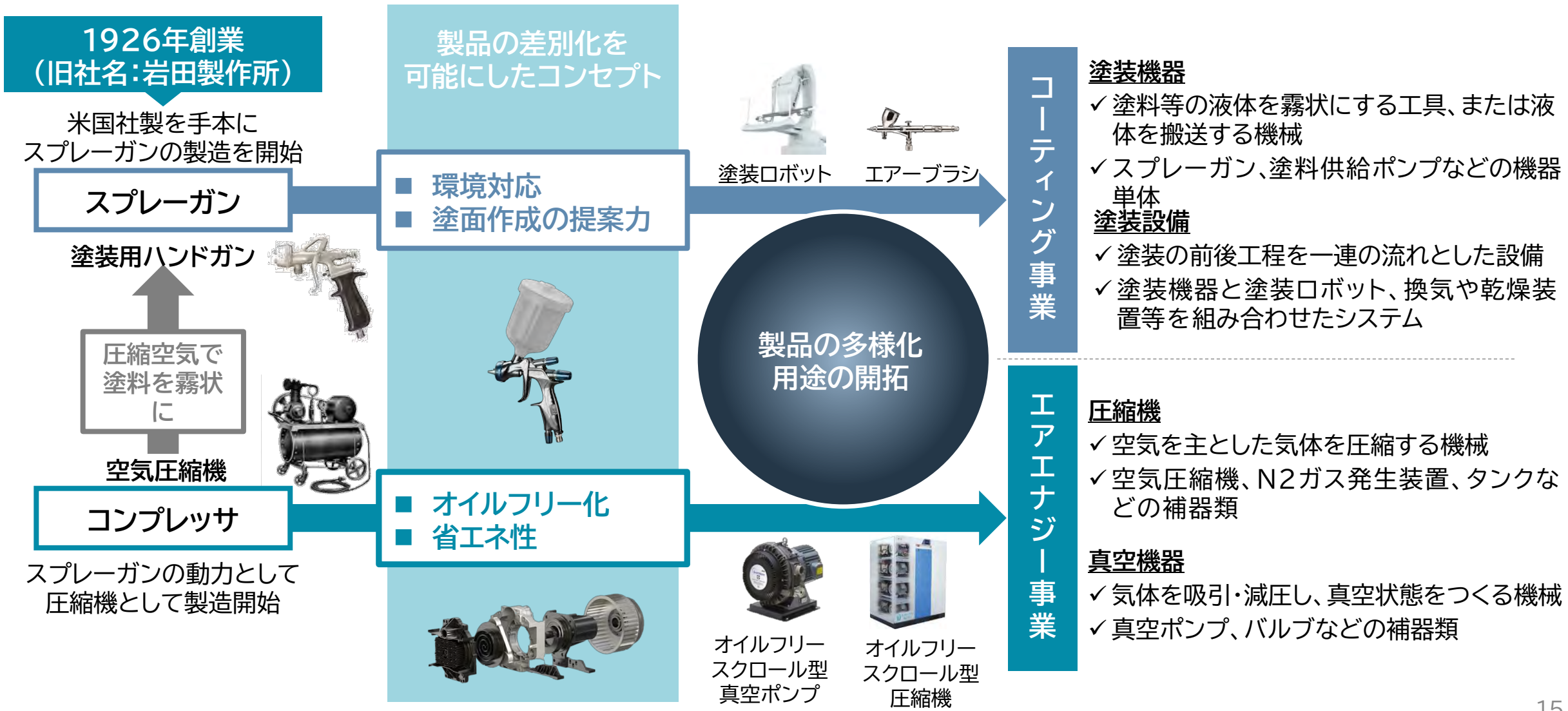
	2025年3月期1Q		2026年3月期1Q		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率変化 (pt)
売上高	12,484	—	12,088	—	-395	-3.2	—
売上原価	6,778	54.3	6,275	51.9	-503	-7.4	-2.4
売上総利益	5,706	45.7	5,813	48.1	+107	+1.9	+2.4
販売管理費	4,688	37.6	4,884	40.4	+195	+4.2	+2.8
営業利益	1,017	8.2	929	7.7	-88	-8.7	-0.5
営業外収益	728	5.8	412	3.4	-316	-43.4	-2.4
営業外費用	42	0.3	26	0.2	-15	-36.3	-0.1
経常利益	1,704	13.7	1,315	10.9	-389	-22.8	-2.8
特別利益	2	0.0	2	0.0	+0	+1.6	+0.0
特別損失	2	0.0	2	0.0	+0	-2.4	+0.0
税金等調整前純利益	1,703	13.6	1,314	10.9	-388	-22.8	-2.8
法人税等	453	3.6	235	1.9	-218	-48.1	-1.7
非支配株主帰属純利益	197	1.6	183	1.5	-13	-7.1	-0.1
親会社株主帰属純利益	1,052	8.4	895	7.4	-156	-14.9	-1.0

<参考情報> 業積推移

【累計】 単位:百万円		2026年3月期			
		1Q	1~2Q	1~3Q	1~4Q
売上高		12,088			
前年同期比		-3.2%			
エアエナジー	圧縮機	6,618			
	前年同期比	-3.2%			
	真空機器	597			
	前年同期比	-20.2%			
	売上高	7,215			
前年同期比		-4.9%			
コーティング	塗装機器	4,427			
	前年同期比	+1.8%			
	塗装設備	291			
	前年同期比	-44.4%			
売上高		4,719			
前年同期比		-3.2%			
その他	売上高	153			
	前年同期比	+451.0%			
営業利益		929			
前年同期比		-8.7%			
エアエナジー	営業利益	478			
	前年同期比	-15.4%			
コーティング	営業利益	533			
	前年同期比	+21.6%			
その他	営業利益	-82			
	前年同期比	—			

【3か月ごと】 単位:百万円		2026年3月期			
		1Q	1~2Q	1~3Q	1~4Q
売上高		12,088			
前年同期比		-3.2%			
エアエナジー	圧縮機	6,618			
	前年同期比	-3.2%			
	真空機器	597			
	前年同期比	-20.2%			
	売上高	7,215			
前年同期比		-4.9%			
コーティング	塗装機器	4,427			
	前年同期比	+1.8%			
	塗装設備	291			
	前年同期比	-44.4%			
売上高		4,719			
前年同期比		-3.2%			
その他	売上高	153			
	前年同期比	+451.0%			
営業利益		929			
前年同期比		-8.7%			
エアエナジー	営業利益	478			
	前年同期比	-15.4%			
コーティング	営業利益	533			
	前年同期比	+21.6%			
その他	営業利益	-82			
	前年同期比	—			

塗装用スプレーガンとその動力となるコンプレッサの製造を出発点に、製品の多様化、用途の開拓を行いながら事業を拡大し続けております



将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。

お問合せ先: アネスト岩田株式会社
経営企画部 IR広報グループ
TEL: 045-591-9344
E-mail: ir_koho@anest-iwata.co.jp
URL : <https://www.anestiwata-corp.com/jp>